



2023年度 活動報告

(2023年4月1日～2024年3月31日)

アフリカンキッズクラブ

アフリカルーツの子ども・ユースが集い、楽しみ、経験や思いを共有する

01



2024年3月のアフロダンスクラスは、AKC関西により大阪の会場で実施し、会場には約50名が参加。絵本の読み聞かせタイムも設け、元気いっぱいに交流できた

アフリカにルーツを持つ子どもたちが集う場として**アフリカンキッズクラブ (AKC)**を運営し、多様なアフリカの文化に触れ、交流するイベントを実施しました。昨年度から引き続き、「**じゅりあ先生とアフロダンスを踊ろう!**」を隔月で実施。1～5回をオンラインで、6回目は3月に大阪のダンススタジオで実施しました。AKC関西は運営メンバーも増え、活動が広がりました。4月に東京で「**キッズ&ユース交流イベント**」、8月にAKC東海が「**BBQパーティー**」を開催しました。

また、ユースが主体的に行うイベントに協力し、東京で「**Let's Talk Cultural Identity**」(7月)、「**カーリーヘアワークショップ**」(11月)、「**Year End Color Party**」(12月)などを実施。ユースや在日アフリカ人の大学での講演(7回)、東京弁護士会の「**学校における髪型の校則**」アンケート調査、「**レイシャルプロファイリング(警察官による人種差別的な職務質問)問題**」についての活動などを行いました。



2024年4月に開催した「キッズ&ユース交流イベント」では、キッズ、ユース、保護者など60名以上が参加し、多世代の交流を楽しんだ

02

在日アフリカ人との連携・支援

アフリカにルーツをもつ人びとが安心して生活できる社会を実現する

「**難民・移民フェス**」(5月、11月)、「**移住者と連帯する全国ネットワーク(移住連)**」、「**なんみんフォーラム**」のネットワークへの参加など、他団体とともに、差別・偏見のない社会に向けて活動しました。慶應義塾大学のボランティアサークル「**ライチウス会**」と連携し、難民の小・中学生への学習をサポートしました。また、在日アフリカ人の教育や生活などの個別の相談に対応しました。

アフリカの保健向上に関わる国際機関への資金拠出や、アフリカにおける医薬品開発・製造能力強化支援などの文脈で、**グローバルファンドへの拠出促進**に向けた連携や公平な医薬品アクセスに向けた共同での政策提言を目的として、日本、韓国、中国、台湾など東アジア地域の市民団体と新たなネットワークを構築するための調査を実施し、9月に東京で対面会合を開催し、東アジアにおける国際保健への政策提言のためのプラットフォームの設置を目指して、日本、韓国、中国、台湾、モンゴルの代表からなるグループを発足させました。

G7と平行して設置されたマルチステークホルダーの政策提言枠組み「国際保健マルチステークホルダー対話（GHMD）：広島からプーリアへ」に参加し、海外の市民社会の参画を実現し、市民社会の参画意義を各セクターに認知させました。

グローバルヘルス市民社会ネットワーク（GII/IDI懇談会NGO連絡会を改称）の代表を務め、外務省や内閣官房健康・医療戦略室との公式対話を発展的に継続させました。

グローバルファンド事務局やグローバルファンド日本委員会等と連携して、日本のプロジェクト実施型NGOがグローバルファンドの案件に実施面で参入するための能力強化ワークショップを開催したほか、個別のコンサルティングを行い、具体的な参画に向けた基盤整備を行いました。「**グローバルファンド活動者ネットワーク**」（**GFAN**）など、世界および地域の感染症・保健関連ネットワークに日本として参画し、国際保健政策への日本の市民社会の参画に関する戦略形成や働きかけを世界及び地域の市民社会と共に行いました。

世界における公正な医療アクセスの実現に向けて、「**公正な医療アクセスを全ての人に！連絡会**」の事務局運営を行いました。その一環として、映画「**新型コロナが映すいのちの格差**」を制作し、同映画を活用して、国内では多様なセクター、海外ではグローバルな市民社会と連携して、公正な医療アクセスに関する啓発活動を行いました。これまでに計12回の上映会を実施し、計約600人が参加しました。

パンデミック予防・備え・対応（PPPR）等を含む国際保健政策の最新動向について調査し、**メールマガジン「グローバル・エイズ・アップデート・プラス**」を月刊で発行しました。



4月にナイロビで行われたGlobal Fund Advocates Network (GFAN) 総会の様子



ジャカルタで開催されたAPCASO・GFAN APの会議にて



広島サミットのメディアセンターで国際保健の記者会見を行った



2024年1月に札幌で開催された「新型コロナが映すいのちの格差」上映会の様子

TICADおよび日本の対アフリカ政策への提言活動 04

市民社会として、アフリカの人びとの声を届ける

2025年のTICAD9の日本開催を控え、TICADに向けた日本の市民社会のネットワークの強化や、アフリカの市民社会との関係の再構築に向けた基盤整備、およびTICAD共催者との関係の再構築に向けた環境整備を行いました。世界レベルでの公平な保健・医療アクセスへの実現に向けて、**G7長崎保健大臣会合**および**広島サミット**に向けて、特に「**公正な医薬品・保健医療アクセス**」の実現やUHCに関わる政策提言を、国内外の市民社会と連携して行いました。その結果、G7が発表した「G7UHCグローバルプラン」などで、市民社会の参画等を含め、市民社会の主張が取り入れられました。その他、G7で発表された各種の保健関連政策方針においても、市民社会の主張は部分的に取り入れられています。また、「**国際保健マルチステークホルダー対話：広島からプーリアへ**」政策対話において、世界各国の市民社会の主要なリーダー層の参加を促進し、その報告書にも、公平なアクセスに向けた市民社会の主張が取り入れられました。



G7保健大臣会合に向けて事務局メンバーが長崎に出張。「新型コロナが映すのちの格差」上映会&ライブトークを開催し、展示ブースで活動を伝えた

05 アフリカの食料と農業

農民の生活と飢えの現状を知り、ともに考え、行動する

食と農の課題について調査や研究、意見交換を行う場をつくり、アフリカおよび世界とつながる国内の食料課題について理解・行動する人が増えること、日本語でアクセスできる資料やデータを増やすことを目的に活動しています。

食料・農業に関する調査・研究は、FAOの報告資料を研究する「**FAOの資料を読む会**」を継続して行い、オンラインセミナーを実施しました。9月の「**世界食料デー**」月間に向けての他団体や横浜市と協力しての啓発活動、イベントの開催を行いました。

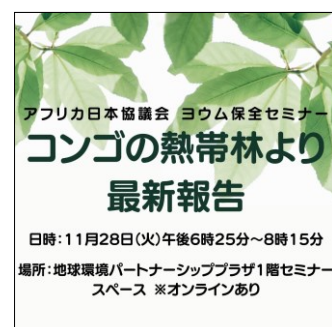


「世界食料デー」月間に開催されたウェビナー、「世界とつながるわたしの食卓」の広報活動を行った

熱帯林と野生生物保全

アフリカ熱帯林と野生生物の課題について発信する

アフリカ熱帯林地域での森林環境、野生生物、先住民族についての調査研究に基づき、地球環境の問題、関係する先住民族の社会問題等について、各種イベントへの参加やチラシの作成配布、関連セミナー等の主催や告知、記事紹介による普及啓発活動や情報提供を行いました。ヨウム保全チラシの改訂・増刷を行い、イベントなどで配布しました。NPO法人TSUBASA主催のイベント「**愛鳥祭**」に出展参加し、アフリカ熱帯林のヨウムについて情報提供を行った。「**コンゴの熱帯林より最新報告**」西原智昭氏講演を主催しました。



2023年11月に西原智昭氏講演の「コンゴの熱帯林より最新報告」を主催

06

07 アフリカ理解促進

アフリカから学ぶ、考える、発信する

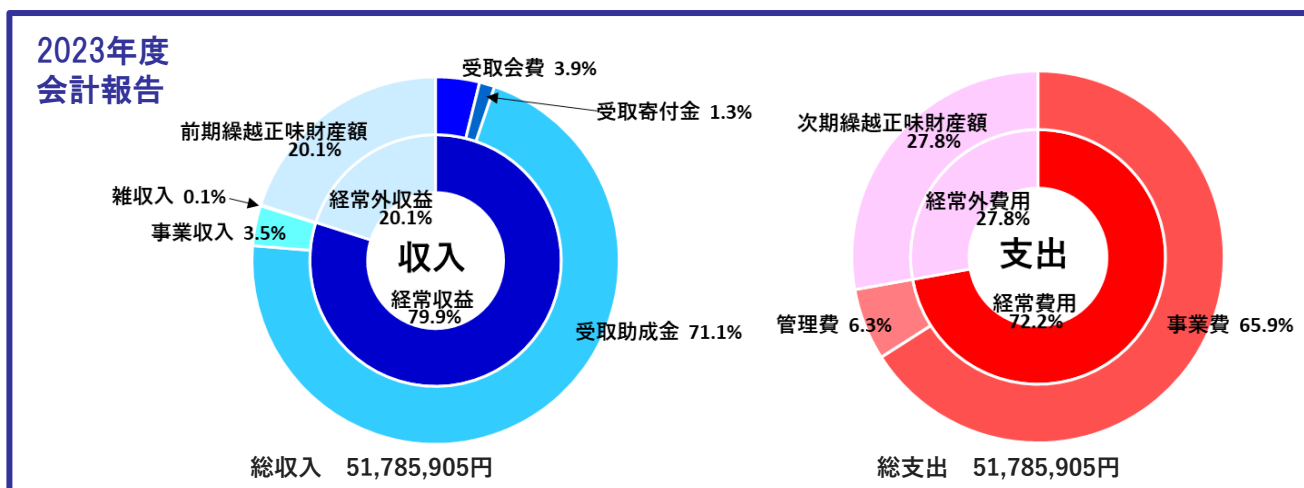
アフリカをとりまく環境の変化と課題についての理解を促進し、AJFの活動の基盤強化を目的に、会報『アフリカNOW』は123号、124号を発行、メールマガジン『AFRICA ON LINE』を毎週配信しました。アフリカニュース発掘部をインターンの協力のもとで進め、メーリングリストやウェブサイトで月1回発信しました。その他、アフリカに関わるテーマで、対面イベントでのブース出展や、後援、原稿執筆、メディアインタビュー等を通して、理解を深めるよう努めました。



『アフリカNOW』123号（2023年8月）、124号（2024年1月）を発行

事務局運営（事務局体制：フルタイム4名、パートタイム1名）

理事会の開催（5月、6月、8月、11月、2024年2月）のほか、理事の有志からなる会員財政委員会、広報委員会、事業委員会、倫理・危機管理委員会、執行体制検討臨時委員会を開催し、事務局の運営をサポートしました。（正会員個人204名 正会員学生1名 正会員団体1団体 賛助会員42名 賛助団体1団体 マンスリーサポーター8名）



アフリカの人びとと共に活動する仲間として、AJFの活動を支援してください

入会

AJFの会員になって、アフリカとのネットワークを広げませんか？ 学生やアフリカに関心を持ち始めた方も歓迎です。



AJF入会案内

寄付

あたたかいご協力をお願いします。

以下のいずれかの口座にお振り込みください。クレジットカードの場合は右記QRコードから、<https://ajf.gr.jp/donate/>からアクセスしてください。

【郵便振替】00120-3-573276 特定非営利活動法人アフリカ日本協議会

【銀行口座】三菱 UFJ 銀行上野支店（普）5305887 特定非営利活動法人アフリカ日本協議会

※銀行口座への振り込みの場合は、info@ajf.gr.jp までご連絡をお願いします。



AJF寄付ページ

NPO法人 アフリカ日本協議会（AJF）

〒110-0015 東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル3階

E-MAIL : info@ajf.gr.jp / TEL : 03-3834-6902

<https://ajf.gr.jp/>

<https://www.facebook.com/Africa.Japan.Forum/>

https://www.instagram.com/africa_japan_forum/

<https://twitter.com/AfricaJapanF>